



議会だより

No. 140

発行：静岡県駿東郡小山町議会

おやま町議会



～初めての金太郎賞を授与～

10月12日(日) 町民体育大会(多目的広場)

金太郎賞は、平成26年度に初めて創設され、町内のスポーツ少年団の中から日頃からよく練習に励み、みんなの模範となるような団員11名に贈られました。

9月
定例会

- 平成25年度一般会計決算 約1億8千万円の黒字を認定 …… 2
- 持続可能な健全財政の継続を(池谷代表監査委員から) …… 3
- 皆さんの暮らしにどう使われましたか?(委員会報告) …… 4
- 平成26年度補正予算・人事案件 …… 6
- 総合文化会館等が一括指定管理へ …… 7
- 小山町議会の動き(決議・基本条例) …… 8
- 町政のここが知りたい 代表質問・一般質問に7人 …… 9
- 研修報告・私の望み(成美小学校) …… 16

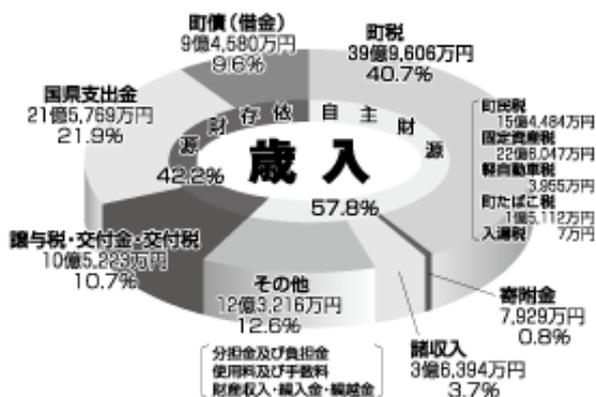
7月
臨時会

原案どおり認定

1億8千万円余 黒字～

9月定例会

一般会計歳入総額 98億2,721万円



平成26年9月定例会が、9月4日から9月30日まで27日間の会期で開催されました。
今定例会には、当局から平成25年度決算の認定や平成26年度補正予算など27件、議会から3件の計30件が審議され、いずれも原案のとおり可決、認定しました。

25年度 使ったお金(歳出)

会計名	金額	対前年度比増減
一般会計	93億8,036万円	6億2,605万円
国民健康保険	19億8,307万円	1億2,086万円
後期高齢者医療	1億9,754万円	1,049万円
介護保険	15億4,183万円	3,968万円
育英奨学資金	497万円	△68万円
下水道	1億7,126万円	△305万円
水道(収益的)	2億 155万円	△981万円
水道(資本的)	1億4,320万円	△1,342万円

決算関連データ

(決算数値の一部を紹介)

※決算関連の数値は1万円未満切り捨てして表記

25年度 入ったお金(歳入)

会計名	金額	対前年度比増減
一般会計	98億2,721万円	8億6,719万円
国民健康保険	22億 648万円	1億7,925万円
後期高齢者医療	1億9,798万円	592万円
介護保険	15億9,301万円	5,816万円

財政力指数(単年度)

【H25】0.928 — 【H24】0.930

※財政力を判断する指標。「1」を超えるほど財政に余裕があるとされる。

経常収支比率

【H25】76.1% — 【H24】76.4%

※財政構造の弾力性を判断する指標。70～80%程度が妥当とされる。

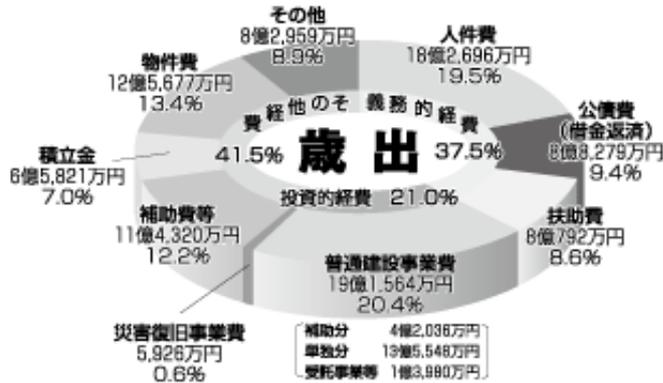
実質公債費比率

【H25】11.5% — 【H24】12.6%

標準財政規模に対する実質的な公債費(町の借金返済)相当額の割合。25%以上は地方債の発行が制限される。

平成25年度決算 ～一般会計 単年度収支

一般会計歳出総額 93億8,036万円



単年度収支とは…
 *説明
 一般会計決算額の歳入から歳出を差し引いた残額4億4千684万円から、翌年度の繰越事業に充てる1億1千494万円、更に前年度の実質収支額を差し引いた金額で1億8千358万1千円の黒字となります。

討論
 「平成25年度一般会計歳入歳出決算」の認定に先立ち、討論が行われました。

反対 高畑博行 議員
 世間では、アベノミクス効果をことさら取り上げますが、一般庶民には景気回復と生活のしやすさのレベルアップの実感はありません。昨年度と比較し町税は増加していますが、国庫支出金等の依存財源の構成比率は大幅にアップしています。実質公債費比率と将来負担比率ともに県下で下位を示しており心配な数字です。三采拠点構想等、否定はしませんが、もっと町民の目ごころの生活の助けになる使い道に向けるべきだともいえます。そのほか、高く評価する点もあるが、今後の行政に活かす意味からも反対討論とします。

賛成 渡辺悦郎 議員
 平成25年度は、町制施行10年目として、新たな一歩を踏み出す年となりました。町長は、災害復旧事業が完了したとはいえ、厳しい財政状況の中で「金太郎のような元気なまち」を目指し、総合計画の基本目標に沿った基本施策を着実に推進されています。今後は、今だ十分とはいえない基金残高のなか、将来的に持続可能な財政運営を図るため、限られた財源を、有効的、効率的に活用し、最大の効果を上げるさらなる努力を望み、賛成討論とします。

平成25年度 一般会計・介護保険特別会計は賛成多数で、それ以外の決算は全員賛成で認定されました。

新たな取組みに向け持続可能な財政健全化を
 監査委員から報告

平成25年度審査意見書の報告が池谷代表監査委員からありました。

審査意見書の主な内容は次のとおりです。

審査結果

予算執行は、議決の趣旨に沿い、おおむね適正に執行されており、翌年度へ繰り越された事業を除き、所期の成果を得たものと認められる。予備費の充用、予算の流用による対応が増加傾向にあるので今後の留意を要する。

審査意見

富士山の世界遺産登録や内陸のフロントエリアを拓く取組の採択等、今後の町の礎となる大きな転機を迎えた。新たな取組みに対応するため、今後数年間は、厳しい財政運営となること予想される。将来的に持続可能な財政の健全化を図るよう努められたい。

総務建設委員会

委員長 阿部 司

平成25年度決算など 皆さんの暮らしにどう 使われましたか？

委員会 審査報告

25年度の各会計決算や26年度補正予算等は、総務建設委員会と文教厚生委員会へ審議を付託されました。各委員会では、担当分野ごとに、質疑・応答を繰り返し慎重に審議を重ねました。ここに、その主な内容を取り上げます。

9月18日に開催し、決算関係の認定等9議案の審議を行い、いずれも全員賛成で、原案のとおり可決しました。主な審議内容は次のとおり。

決算関連

(一) 一般会計

Q 定柄ふれあい公園使用料を増やす方策は。

A パークゴルフ場の利用

者は増えてきていますので、今後もホームベージなどを活用しPRに努めます。

Q 定柄ふれあい公園パークゴルフ場の町外利用者数は。

A 現在、統計を取っていませんので今後整理し運営に活かします。

Q 住宅使用料未納者の人数と最高未納額は。未納者に対する収納策等は。

A 平成25年度未現在で117人、最高金額は年度内で262万7千800円です。24年度に3件の明渡請求訴訟を行い、現在訴訟対象者を決めるための保証人の確認作業を実施中です。

Q 25年度で光ファイバ網が整備されたが、今後の活用は。

A 県は、富士山周辺のネットワーク環境を整備するため、スマートフォンやタブレット向けのフリーのWi-Fiスポットの整備を進めていきます。町としても、町内へWi-Fiのフリースポットの整備を今後考えていきたいと思えます。

Q 農家は有害鳥獣被害に苦しんでいる。現在の有害鳥獣の捕獲頭数と捕獲計画頭数は。

A 26年度の捕獲頭数は、狩猟許可日から8月末までシカ118頭、イノシシ36頭で、26年度の捕獲目標頭数はシカ175頭、イノシシ80頭です。

Q 全国では、シビエ料理が話題になっているが、被害を逆手に取った対策は。

A シビエとして活用する場合、捕獲後、速やかに処理をする必要があり、そのための施設が整っていない現状です。

Q 借金時計をホームページで公開しているようだが、町民にもっと分かるよう、庁舎玄関に各月或いは半年単位等で掲げたいのでは。

Q 提案のあった内容について前向きに検討していきたい。

Q 農村活性化センターの利用回数を伸ばすため、営利目的に使うことはできないか。

A 設置条例に基づいて運営しています。費用対効果が十分得られるよう運用方法を研究します。

Q 水道使用料の欠損額・欠損件数が年度毎増えている原因と対応は。

A 未納者には、督促状等の送付により、自主納付を促すとともに滞納整理など納付指導をしています。しかし、生活困窮者や居住不明などにより回収が容易でない現状です。今後は、給水停止を含め滞納者の解消に努めます。

Q 24・25年度は、給水原価が供給単価を上回っている。この原因と今後の予想は。

A 原因として、水道使用量の減少と減価償却費など



▲ 町道3975号線橋梁工事現場を視察(大御神)



▲ 認定町道路線を視察(菅沼)

※ Wi-Fiスポットとはパソコンやスマートフォンでインターネットをする際の中継地点



▲須走小学校多目的教室建設予定場所を視察

文教厚生委員会

委員長 渡辺悦郎

9月24日に開催し、14議案(うち25年度決算5件)の付託案件は、原案のとおり全員賛成または、多数賛成で可決しました。主な内容はそのとおり。

決算関連

(一般会計)

Q 各種検診事業の受診率が低下しているが、その原因分析は。

A 検診別、年代別に受診率が低い部分を把握しています。啓発活動、利便性向上、未受診理由の把握に努めます。

Q 放課後児童クラブの基準一の検討はなされたのか？

A 26年度から委託料の算出基準を変更しました。現在基準の条例案を作成しているところです。

Q 一時的保育とは？待機児童と受け入れ態勢は？

A 家庭で一時的に保育が困難な乳幼児を一時的に預

かる制度です。26年度は基本的に待機児童はいませんが、年齢的に希望どおり入れない状況の方がいます。今の施設レベルで対応可能です。

Q A・L・T派遣で小・中学校においての配置及びクラス毎の授業時間数は？

A 小学校に一人配置、年間23.2回の授業で、中学校に一人配置、年間46.4回の授業です。

(国民健康保険)

Q 基金が毎年取り崩される状況下、国保の健全運営をどう考えるか。

A 町の国保税は、平成12年度以降、実質値上げしていません。基金の減少もあり、今後、国保運営協議会で保険料率の見直しを協議します。

Q 特定健診受診率向上のため、受診しない理由等を把握するための対策は。

A 特定検診の案内に、検診を受けられない方に回答して

いただくアンケートを同封し、実状の把握に努めています。今後も電話での受診勧奨等に努めます。

(介護保険)

Q 町内の介護施設等で、介護士等の人材は足りているか。

A 現状では、需要に対する人材は確保されていると聞いています。

Q 町内の施設介護・在宅介護の傾向は。

A 施設介護サービス・通所介護サービスともに利用者は増加傾向です。予防に對する取組みに努力していきます。

条例関連

(パークゴルフ場の設置及び管理に関する条例)

Q 独立した指定管理を導入するのか。

A 新たに健康増進施設として位置付けることにより、今後、運営、委託、指定管理が考えられ最善の

方法を検討している状況です。

Q 料金体系は現状のままか。

A 新たに一回あたりの料金を設定するとともに、健康増進施設としての料金を検討します。

(町立図書館の設置及び管理に関する条例)

Q なぜ図書館を指定管理にするのか？ メリットは？

A 図書館は、総合文化会館に一体として設置されており、指定管理からはずすことは、余計な経費がかかり、必要最低限の指定管理を行いたい。メリットは、管理費の削減、社会教育事業全般の中で図書館事業が推進されると思います。

(総合文化会館の設置及び管理に関する条例)

Q 文化会館を利用する町民活動への配慮は。

A 指定管理者募集要項の中で、公的行事等について

配慮することとしています。総合文化会館等運営協議会でも調整します。

補正予算関連

(一般会計)

Q 生涯スポーツ人材育成事業とは。

A 緊急雇用創出事業を活用し、スポーツ事業の企画立案等で即戦力となる人材を育成し、町内関係団体への就労に繋がります。

Q スクールバス運営事業費の内容は。

A 町公共交通のあり方の見直しにより、従来の巡回バスが終了し、こども育成課でスクールバスを管理運営する経費です。

(国民健康保険)

Q 基金をもう少し積み立てるべきでは。

A 昨年度、追加で取り崩した基金分を今回繰越金から積み立てるものです。

一般会計 補正 歳入歳出に 2億5千325万9千円を追加

平成26年度一般会計予算に、歳入歳出それぞれ2億5千325万9千円を追加し、総額92億5千706万6千円とする。全員賛成で可決。主な内容は次のとおり。

歳入

地方特例交付金

295万2千円増額

地方交付税

1千393万9千円減額
交付額の決定により補正。小山町は、25年度と同様に、普通交付税の交付団体となります。

民生費国庫負担金

1千284万7千円増額

民生費県負担金

642万3千円増額
児童発達支援事業と放課後児童通所事業の利用者が増加しているため。

農林水産業費

1千23万6千円増額

農地管理システム改修経費と森林整備加速化・林業再生事業補助金。

不動産売却収入

898万2千円増額

役場本庁前の県道拡幅工事に伴い、役場敷地を県に売却するため。

繰越金

1億6千190万円増額

25年度の実質収支額が3億3千190万円の黒字となったことによる繰越金額。

歳出

一般行政事務費

3千130万円増額

役場本庁前の県道拡幅工事に伴う、役場庁舎などの解体や改修費。

基金管理費

5千880万円増額

財政調整基金へ5千万円の積立と彰徳山林会様からの寄附金を須走地域振興基金へ積立。

企画調査費

245万6千円増額

第4次小山町総合計画の後期計画策定委託料。

感染症予防費

485万1千円増額

水ぼうそうワクチンと高齢者肺炎球菌ワクチンの接種が定期の予防接種となったため。

小学校施設整備費

4千250万円増額

北郷小学校クリーニング



▲改修が予定される役場本庁前

ター修繕等、小学校トイレユニバーサル化、須走地域振興基金を財源に須走小学校に多目的教室建設。

特別会計

平成25年度の決算に伴うものが主な補正内容。いずれも全員賛成で可決。

国民健康保険

1千971万8千円を追加し、総額を20億871万8千円とする。

育英奨学資金

10万円を追加し、総額を539万5千円とする。

介護保険

4千286万5千円を追加し、総額を17億1千286万5千円とする。

水道事業

収益的支出は臨時職員の利用に伴い101万4千円増額が主なもの。資本的支出は、給水エリア拡大に伴う委託料370万円を増額。

地震財特法の延長に関する意見書

静岡県町村議会連合会長から意見書の提出があり、本町も、東海地震等に備え、静岡県が作成した地震対策緊急整備事業計画に基づき、地震対策を講じているが、今後実施すべき事業は残されている。県の計画の板挟みとなる地震財特法を今後も延長することを要望する意見書として全員賛成で可決。

手話言語法（仮称）制定を求める意見書

静岡県東部ろうあ協会長から意見書の提出があり、国においては、障害者権利条約を批准したところであり、改正された障害者基本法に基づき、言語である手話を普及等させる環境を整えるため手話言語法（仮称）の制定を要望する意見書を全員賛成で可決。

委員の同意

固定資産評価委員

須走地区の米山恒久さんを固定資産評価委員として選任することに同意しました。任期は、平成29年9月末までです。

人権擁護委員候補者

人権擁護委員候補者として

- 小見山泰男さん（足柄）
 - 芹澤 勝さん（北郷）
 - 相野谷光子さん（須走）
 - 湯山 久さん（明倫）
- を候補者として推薦することに同意しました。任期は、平成29年12月末までです。

その他の議案

- ・新東名高速道路建設に係る町道3975号線新設等（一色工区）に関する工事細目協定
- ・町道路線の認定
- ・平成25年度一般会計予算継続費精算報告書等が審議され、いずれも全員賛成で可決されました。

総合文化会館・総合体育館・図書館への 一括指定管理者制度導入に向けた条例を整備！

パークゴルフ場は、健康増進施設として明確に位置付けて管理を行う

町は、平成27年4月から「総合文化会館」「総合体育館」「図書館」の一括した指定管理者制度導入を目指し、各種条例の整備を行いました。

本会議での条例に対する主な質疑は次のとおり。

町立図書館の 設置及び管理に 関する条例

Q 公立図書館は、文化の発信の拠点であり、指定管理者制度はなじむものであるか。

A 文化会館と一体施設であること、文部科学省でも指定管理として整理されていること、山中湖村においても10年以上指定管理者制度で運営されていることなどにより整理した。文化会館等運営協議会を設置し、教育委員会としても文化の発信地として指導できる体制をとっていきたい。
※賛成多数で可決

総合文化会館の 設置及び管理に 関する条例

Q 文化会館に指定管理者制度を導入することにより、利潤第一主義にならないか。

A 図書館と同様に運営協議会の中で文化の発信地としての部分を維持したい。自主文化事業についても、町民が広く芸術文化に触れる機会の創出という基本的な考え方は崩してはいけなさと考えています。
※全員賛成で可決

パークゴルフ場の 設置及び管理に 関する条例

パークゴルフ場を町民の健康増進を図る施設として明確に位置付けるために条例を制定。
※全員賛成で可決

なお、これらの条例に対する質疑等は、4～5ページの委員会報告にも掲載されています。

その他、今定例会で制定された条例は次のとおり。いずれも全員賛成で可決。

後期高齢者医療に 関する条例の一部を 改正する条例

保険料の軽減措置と減免制度を明確にする改正

廃棄物の処理 及び清掃に関する 条例の一部を 改正する条例

平成27年4月1日から実施する指定ごみ袋制度の開始に伴い改正

その他、今定例会で制定された条例は次のとおり。いずれも全員賛成で可決。



▲一括した指定管理者制度の導入が予定される「文化会館」と「総合体育館」

7月臨時会

平成26年第3回7月臨時会を7月30日に開催しました。当局から、専決処分の承認1件、工事請負契約の締結1件、補正予算1件が提出され、原案のとおり可決されました。

◆専決処分の承認

平成26年度 小山町一般会計補正予算（第2号）

◆工事請負契約の締結

「平成26年度南藤曲宅地造成事業」
工事の内容は、南藤曲へ静岡県が推奨する「家・庭一体の住まいづくり」に沿った宅地造成工事をするもので、宅地造成面積約5,500㎡、区画数16区画の宅地造成を実施。

本会議以外の活動 ※主なもの

- ◆8月26日（火） 文教厚生委員会協議会
- ◆8月26日（火） 議員懇談会
- ◆8月28日（木） 視察研修（町内企業）
- ◆9月4日（木） 議会改革特別委員会
- ◆9月30日（火） 内閣フロントエリア特別委員会
- ◆10月9日（木） 南定柄市議会交流会
- ◆10月17日（金） 駿東郡議会議事録
- ◆10月28日～30日 視察研修（県外）
ほか、会派及び個人等で活動しました。

12月定例会のお知らせ

- 平成26年12月定例会の予定は次のとおり。
- ◆11月27日（木） 開会
 - ◆12月2日（火） 通告による一般質問
 - ◆12月4日（木） 総務建設委員会
 - ◆12月9日（火） 文教厚生委員会
 - ◆12月16日（火） 審査報告、質疑、採決
※変更になる場合があります。

町政のここが知りたい ~代表質問・一般質問に7人~



阿部 司
(新生会)



▲ 山地強靱化へ簡易土留工の施工体験の様子

Q 平成25年度決算を問う

A 「金太郎のような元気なまち」を目指し、十分な成果

25年度の決算は、町税が6年ぶりの増加だが、町債や財政調整基金、将来負担率が県下でも下位であり改善の余地がある。また、内陸フロンティア三来拠点事業の成功には、多額の資金が必要となる事は必至であり、構想や規模を適切に定め先行的に資金の調達

Q 年度当初掲げた4つの重点項目に対する成果は。

A 町長 保育園の耐震化事業やデジタル行政無線機整備に取り組み「安心・安全なまち」を目指してきました。また、小

山町版内陸フロンティアを拓く取組として、三来拠点の構想を打ち出し、新しいまちづくりに取り組み、「金太郎のような元気なまち」を目指し、十分な成果があったものと思っております。

Q 財政健全化の今後の施策並び

に今後の見通しは。

A 町長 財政の健全化に向け、これから始まる平成27年度予算編成においても、重要課題として取り組むと共に、内陸フロンティアを拓く取組等の事業費を適正に見積り、財政計画に反映させていただきます。と考えています。

Q 全国で多発する土砂災害等に対する対応

A 地域と行政が協力して取り組みます

8月20日未明、広島市土砂災害で、多くの人が犠牲となった。我が町も平成22年に甚大な被害を被ったが、今後の各種災害に対し、まずは山を治め、安全にする事が町の発展にとって喫緊の課題であり、早急な取り組みや対策が望まれる。

Q 山地強靱化全体像及び進捗状況は。

A 町長 荒廃森林の効率的かつ早急な復旧、農業集約化による森林整備の推進等、山地災害の被害軽減対策に関する取組を地域と行政で協力して進める山地強靱化総合対策協議会を設置し取り組んでいます。

Q ハザードマップの修正や見直しは。

A 町長 町では静岡県にあり67か所の警戒区域等が指定されています。今後県が行う区域の見直しに危険箇所の情報提供を行い、土砂災害ハザードマップに反映させていただきます。

Q 災害時の避難誘導や普及教育は。

A 町長 避難勧告等の発令は地区毎発令します。住民の皆さんが「自らの命は自ら守る」ことを認識し、自宅周辺の変化に応じた避難行動の普及教育を継続します。



▲ 様々なスポーツに対応が可能な多目的広場



池谷 洋子

Q 町の自然環境、資源を利用したの活性化は

A 資源を活かした受入体制を進めていきます

Q 当町は都心から近く大自然に恵まれ、夏の涼しさや起伏の激しい坂道等は、マラソンや自転車競技などの高地トレーニングに最適な環境です。又、小山坡、多目的広場等多くの施設があり、ゴルフ場や富士スピードウェイ、富士学校、夜間照明付きキラウンドなどの施設もあります。更に、須走や定柄に温泉があり各地域には宿泊施設があります。それらの充実を図ればスポーツ合宿の場として最良です。また、有名な選手、団体が来てくれれば知名度も上がり更なる誘致が広がります。

合宿などを含むスポーツ誘致は、

A 町長 小山坡や多目的広場等の町の施設は、主に夏休み期間中、多く

の団体に利用されています。町内企業やゴルフ場、富士スピードウェイ、富士学校等の施設利用は、管理面等から非常に困難と考えます。今後、専門家からアドバイスを頂き、NPO法人小山町体育協会、町内旅館組合などの関係者と連携し、スポーツ活動団体等の誘致を進めていきます。

Q 安全な美味しい水を利用した物産展や水で遊ぶスポーツなど「仮称「水まつり」」の開催等で清らかな湧水の町をアピールできます。水資源に恵まれた町のPRは、

A 町長 清らかな湧川を活用した恒例イベントとして、富士山金太郎夏まつりの「おやまD&Eと

んぶらこ」を開催していただきます。道の駅や駿河小山駅前広場では、給水所を設け小山の水をPRしています。また、町内事業者が、小山町の水を原料に商品化し、多くの方に御賞味されています。今後、水かけ菜やワサビ、御殿場コシヒカリなどを基に、清らかな湧水の町を更に広くPRしていく手法を研究し、町の活性化につなげていきます。

Q 町内には、素晴らしい古い歴史があります。温泉や史跡巡りを兼ねた宿泊ツアー等を企画できます。

A 商工観光課長 観光協会等と協力し、地域の景勝地や史跡、文

化財等の観光スポットを巡るツアーの実施を検討していきます。また、JR東海や小田急電鉄、富士急行等の事業者、旅行会社に対しても町のハイキングコースや史跡、文化財、温泉等の観光資源を紹介し、ツアーを企画していただけるよう働きかけていきます。

Q 町の自然環境等を利用しての活性化について町長がトップセールスをする事は、

A 町長 誘致するには、宿泊施設等の受け皿を整えなければなりません。宿泊施設を作っていくことを進めながら、誘致運動をしていきます。



高畑 博行



▲ 不動産BANKに登録された物件(菅沼)

Q 小山町不動産BANKの状況は

A 合計92件の契約成立となっています

Q 定住人口促進目的の小山町不動産BANKの取り組みとその状況について質問する。

計は92件です。

Q 看板等の広報以外にもっと工夫した広報を追求してみては？

A 都市整備課長 金融機関に対しての働きかけや県内外の住宅展示場を活用した情報提供をしています。また、空

Q 町内の空き家や空き地の件数とこれまでの取り組み成果は。

A 町長 空き地約80件、空き家約30件を把握しています。契約成立件数合

Q 空き地の所有者にダイレクトメールを送付しています。

Q 空き家を解体して更地にする、固定資産税が最大6倍になってしまふ。税の仕組みは変えられないのか？

A 地防課長 「みなし仮設活用をどう考えるか。国の検討経過を踏まえ、柔軟に対応します。

Q 教員の多忙化の現状と解消に向けて

A 教員数が増えることが理想です

OECDの調査結果から、日本の教員の長時間労働実態が明らかになった。教員の多忙化問題について質問する。

Q 会議や研修、出張が多いと聞くが、その実態と改善策は？

Q 事務作業軽減に向けた合理化策は？

Q 現在、町内小中学校教員の過平均持ち時間数は？

A 教育長 小学校が22・1時間、中学校が18・2時間です。

A 教育長 一人以上が数値上は出張しています。教師の質、授業の質を高めていくためにも生徒一人あたりの教員数を増やすことが最も求められます。

Q 35人学級の閉鎖型方式が逆に現場の教員数不足、空き時

間、不足を招いている。この点に対する見解は？

A 教育長 当方は、式理念は少人数教育を目指すものであり、現場にありがたい仕組みですが、担任外教員の配置が小規模校になくなったことにより、授業の補欠に、教材研究時間の教員を充てざるを得ない状況になっています。



▲ 拡幅工事された県道足柄峠線



池谷 弘
(新生会)

Q ふるさと納税寄附者の増加策と寄附活用は

A 様々なPR方法を研究し、総合計画推進に活用

ふるさと納税は、応援したい自治体に2千円を超える寄附をすると居住地の住民税等が控除され、特産品のお礼をする自治体が現れて注目が集まっています。この4年間で適用者が32倍、寄附金額は1.8倍となり、27年度寄附額上限の引上げ予想もあり急成長している。

一方、寄附により徴収できずにはすの住民税が減額し、自治体が割を食うというところもある。

Q ふるさと納税寄附者の増加策は。

A 町長 現時点では、お礼の実施を考えていますが、寄附金の活用方法により寄附者や行政も喜ぶ

ふるさと納税は、応援したい自治体に2千円を超える寄附をすると居住地の住民税等が控除され、特産品のお礼をする自治体が現れて注目が集まっています。この4年間で適用者が32倍、寄附金額は1.8倍となり、27年度寄附額上限の引上げ予想もあり急成長している。

Q 足柄と南足柄市を結ぶ道路開設の進捗は

A 県道足柄峠線の整備が必要。県に要望しています

Q 足柄峠下から南足柄市に抜ける1千400mのトンネル整備構想が以前より検討されてきている。この道路ができれば小山町の観光だけでなく、地元足柄地区の発展に大きく寄与できる。富士山噴火等が懸念されている折、国道248号線等は土砂災害で不通に

なる可能性もある。県内は、自衛隊駐屯地も多数あり、緊急時の住民避難と自衛隊災害救助に南足柄市にもメリットがある道路の必要性は更に高まっている。進捗状況と南足柄市との共同道路開設の検討は。

足柄峠にトンネルを掘り、南足柄市を經由、小田原市までを結ぶ道路整備構想は、昭和60年に策定し、平成3年度に須走から小田原市までの約32kmのルート・経費を調査しました。概算経費約840億円という国家的プロジェクトレベルであることや、南足柄市の理解

が得られなかった経緯があります。現在町としては、県道足柄峠線が重要な路線と考え、県に対し拡幅や狭路部のバイパス化をお願いしています。まずは県道足柄峠線の整備を優先して、県に要望し南足柄市への円滑な交通の確保に努めていきます。

法については、寄附をい

ただく方のご意向を伺い、総合計画の基本構想「富士をのぞむ 活気あふれる 交流のまち おやま」を実現する事業のために充当しています。

び合える施策の考えは。

A 町長 町にとっ

て、収入の確保に努めることは非常に重要であり、今後町を応援していただける方や、町で生まれ育ち、活躍する人などから、寄附をいただけるよう、今後も様々なPR方法について研究していきます。

A 町長戦略課長

※ 他に「とんぼの里つくりと国連生物多様性10年の取り組み」について質問しました。



渡辺悦郎
(新生会)



▲原木が選別されていく静岡原木流通センター

Q 「内陸フロンティア」を拓く取組事業の進捗は

A 湯船原地区での企業誘致に力を入れます

県は、本町を内陸・高台部のイノベーションモデルとして総合特区に指定し、推進体制を整えて事業を進めている。

事業の概要と現時点での状況、木材資源有効活用のための方策について伺う。

A 農林課長

Q 県と本町が3月25日に締結したレディメード方式は、他の市町でも推進しているのか。レディメード方式による町のメリットと今後の計画について伺う。

A 町長

「小山湯船原工業団地」は、13年ぶりに、静岡県が行う県内唯一のレディメード方式の工業団地です。県が造成工事を行う分、町は企業誘致に力を入れることが可能となり、平成30年の分譲開始を目指します。

Q 26年度から操業開始している静東森林経営協同組合の静東原木流通センター整備

事業の概要と現時点での状況、木材資源有効活用のための方策について伺う。

Q 富士小山次世代施設園芸推進コンソーシアムの木質バイオマスを活用した次世代施設園芸導入加速化支援事業における「高糖度トマト栽培事業」の概要と今

後の予定について伺う。

A 農林課長

富士小山次世代施設園芸事業は、湯船原地区の約7haにおいて、高糖度トマト「アメラ」を販売管理する圃場をファーマーズが生産拠点の整備を行うものです。26年度中の造成工事、平成27年度は、木質ペレットを活用した暖房設備、園芸施設の建築工事を行い、平成28年度から施設が稼働する計画です。本事業による、新たな雇用を期待しています。

今回は現在進みつつある内陸フロンティア事



▲「アメラ」トマト生産拠点建設予定地(上野)



▲「富士山金太郎春まつり」を盛り上げる大砂嵐金太郎関



桜井 光一
(新生会)

Q 「北郷の森」整備構想と進捗状況は

A 北山施業団地の町有林整備に関する協定を締結

Q 町長のマニフェスト「北郷の森」

整備構想もいよいよ大詰めを迎え着々と整備が進んでいる事と思えます。

25年9月定例会一般質問での町長答弁は、26年度より協働管理計画の具体化に向け構想づくりを開始。人工林の整備は、間伐実施と路網整備計画。

森林環境教育、レクリエーションの場の整備

は、日本大学と協力し土壌や植生の状況を調査の上、自然環境の特性に応じた活用の方角性を検討する。という答弁でありましたが、1年経った現時点での具体的な整備構想と進捗状況を伺う。

A 農林課長

人工林整備における、間伐の実施及び路網整備の計画については、北山施業団地の町有林整備に関する協定を26年度から30年度まで、静東森林経営協同組合と締結しました。26年度事業として、路網整備3千300mと間伐

22haを実施する予定です。森林環境教育におけるレクリエーションの場の整備については、日本大学に委託し、25年度に得られた調査結果等を基に、「北郷の森」の位置付け

や現状と課題を森林の空間利用に関する分野を中心に整理し、活用方法の検討をしていきます。

Q 大相撲力士 大砂嵐金太郎関との今後の対応は

A これからも良い関係が続けていきます

Q 26年4月、大砂嵐金太郎関に「金太郎つながり」で富士山をバックに町のシンボル

金太郎が入った化粧まわしを贈り話題となりました。その後大親方らと来町し「富士山金太郎春まつり」を盛り上げました。エジプト出身だけにピラミッドの頂点目指し

町民の期待も大きく、本場所では化粧まわしをつけ全国に小山町をPRしたのは町長の大ヒットと絶賛します。化粧まわし製作費の寄附実績及び状況は、今後の町の活性化に向けて、大砂嵐関や大親方らとの交流イベントなど、どのように関わっていくか伺う。

A 町長ほか

化粧まわしの寄附実績については、92の個人、団体から21万5千円の寄附を頂きました。化粧まわしの製作に130万円、記念事業に10万円を使用し、残金の7万5千円は金太郎元気基金に積立しました。これからも大砂

嵐金太郎関を応援し、大親方らとは良い関係が続けていきたいと考えています。また、26年度参加いただき、大変な盛り上がりを見せた「富士山金太郎春まつり」には、これからも参加していただけるようお願いしていきます。

